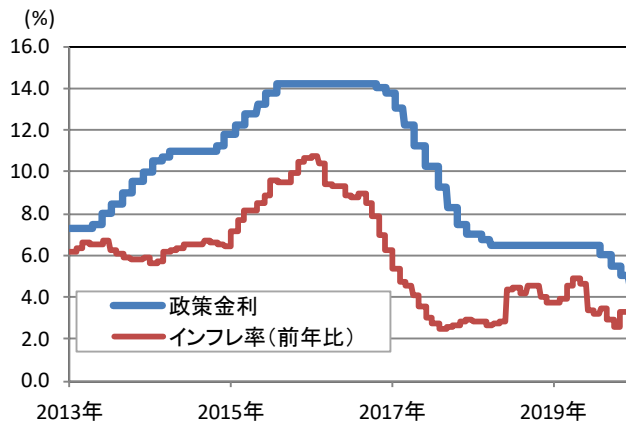


## ブラジルの政策金利の引き下げについて

2019年12月11日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.5%引き下げ、年率4.5%とすることを決定しました。

市場の予想通り4会合連続で0.5%の利下げし過去最低の4.5%とすることを決定しました。ブラジルの第二四半期の経済指標は持続的回復傾向を示しており、COPOMでは前回と同様にブラジル経済が徐々に回復するとの基本シナリオを示しました。世界経済見通しについては、引き続き景気のスローダウンとインフレ予想が目標値を下回る状況にあり、主要経済大国が追加的刺激策を継続しており新興国経済にとって比較的好ましい状況にあるとしました。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移  
 (2013年1月1日～2019年12月11日)



\* 政策金利: Selic を使用。

\* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

ブラジルの政策金利と変化幅

| 日付          | 政策金利 (%) | 変化幅 (%) |
|-------------|----------|---------|
| 2018年3月21日  | 6.50     | -0.25   |
| 2019年7月31日  | 6.00     | -0.50   |
| 2019年9月18日  | 5.50     | -0.50   |
| 2019年10月30日 | 5.00     | -0.50   |
| 2019年12月11日 | 4.50     | -0.50   |

### 本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。